



桑山っ子



児童及び保護者の皆様をお願いした「桑山っ子アンケート」の集計ができましたのでお知らせします。

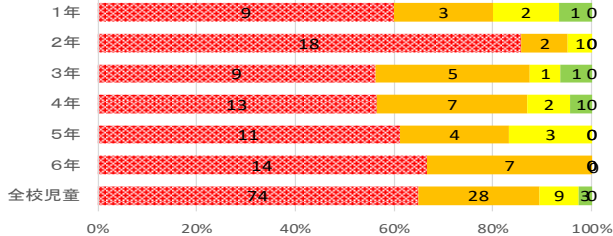
桑山っ子アンケート結果

令和2年9月実施
三豊市立桑山小学校

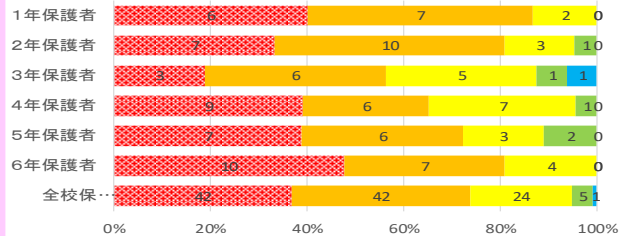
(児童)

(保護者)

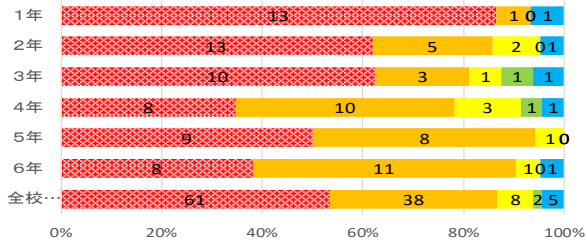
運動にくじけずがんばっていますか



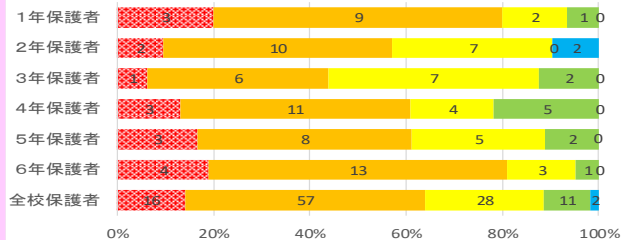
子どもは、くじけず頑張っていますか



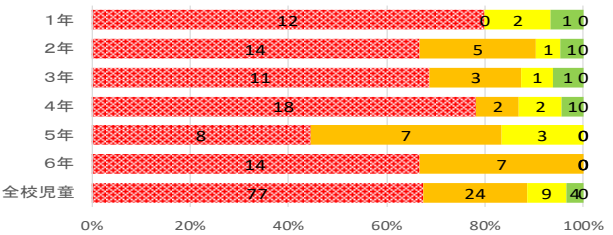
わくわく学んでいますか



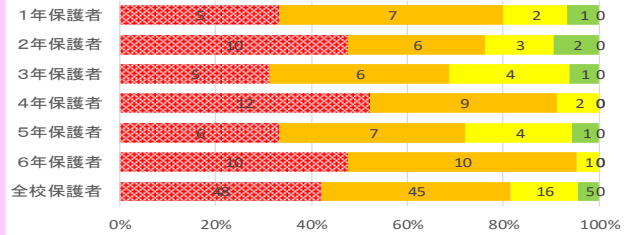
子どもは、わくわく学んでいますか



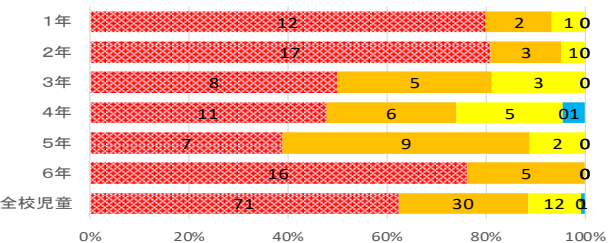
やさしくかかわっていますか



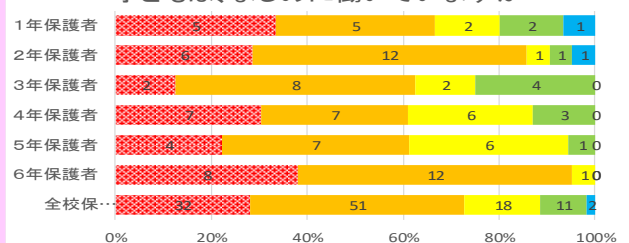
子どもは、友だちとやさしくかかわっていますか



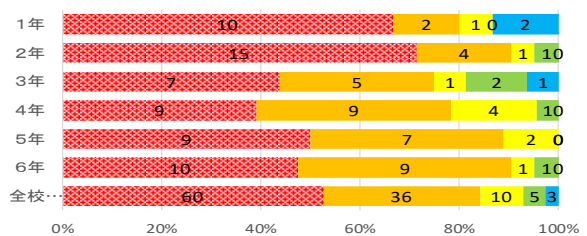
まじめに働いていますか



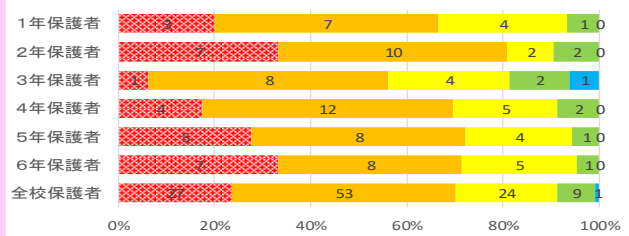
子どもは、まじめに働いていますか



こつこつ取り組んでいますか



子どもはこつこつ取り組んでいますか



よくできている できている まあまあできている 少しはできている 全くできていない

よくできている できている まあまあできている 少しはできている 全くできていない

- 児童の主観による自己評価のため、「できている」以上の割合で肯定的傾向を見ることで、自尊感情についても推測することができる。
- 「くじけずに頑張っている」意識は、3期連続高くなっている。
- 「わくわく学んでいる」意識の「できている」以上が、7.8pt上昇した。
- 「やさしくかかわっている」意識の「よくできている」が、8.7pt上昇した。
- 「まじめに働いている」や「こつこつ取り組んでいる」という意識は、高学年になると下がる傾向があるが、5、6年生の「できている」以上の意識は高い。

- 保護者は、「たいへんわくわく学べている」と感じている保護者は7.9pt減少しているが、「できる」と感じている保護者は多い。
- 「友だちとやさしくかかわっている」に高評価をしている。
- 「まじめに働いている」に関して、高評価をしている学年が多い。
- 「たいへんこつこつ取り組む」と感じている保護者が1/4弱である。学年により差がみられるが、全校の保護者全体で考えると「まあまあできる」以上と感じている保護者が90%を超えている。
- 児童の自己評価に比べ保護者の評価の方が少し厳しい傾向がうかがえる。全校の前年度比較では、評価がやや低くなっている。

【考察】「まじめに働いている」と考える6年生が100%。朝のボランティア清掃への参加や他の全体へ役立つ頑張り等を十分に自覚させて取り組んでいる。

(本年度:「よくできている」児童:約52~68%、保護者:約15~42%)
(前年度:「よくできている」児童:約40~65%、保護者:約20~50%)